

平成23年12月26日

東京電力株式会社
使用済燃料プール対策

使用済燃料プール対策の活動方針

1. 目的

- ・1号機から4号機の原子炉建屋使用済燃料プールに貯蔵中の燃料を取り出し、共用プールへ移送する。
- ・燃料を共用プールへ移送するため、現在、共用プールに貯蔵中の使用済燃料をキャスクに充填し、発電所外への搬出までの間、発電所内に仮置きする。
- ・なお、最初に燃料取り出し開始予定の4号機については、ステップ2完了から2年以内(2013年中)の開始を目標とする。

2. 実施内容

(1) 共用プールからの健全燃料の取り出し

- ①キャスク製造
- ②港湾復旧・輸送ルート整備
- ③共用プール復旧
- ④乾式キャスク仮保管設備の設置

(2) 使用済燃料プール内燃料の共用プールへの移送

- ①燃料取出用キャスク、治具の開発、製造
- ②燃料取出用カバーの設計、設置、燃料取扱設備の設計、設置
- ③原子炉建屋上部・プールガレキ撤去、線量低減
- ④共用プール改造
- ⑤使用済燃料プールにおける燃料取り出し

(3) 既設乾式貯蔵キャスクのキャスク保管建屋からの搬出

(4) 核物質防護、保障措置上の対応

3. 主な課題

(1) 使用済燃料プール内燃料の共用プールへの移送

- ①破損燃料の取扱方法、キャスク・収納缶等の開発
- ②安全・確実かつ効率的な原子炉建屋上部・プール内ガレキ撤去
- ③効果的な線量低減方策、燃料取り出しに関する安全な作業方法及び自動化
- ④使用済燃料プールの水質改善
- ⑤破損燃料、塩分及びガレキ付着燃料等の受入に必要な評価、設備改造
- ⑥使用済燃料プール燃料の健全性の定義及び確認方法
- ⑦安全・確実かつ効率的な燃料取出用カバー・燃料取扱設備の設置
- ⑧燃料取り出しに係る要員の育成・確保

(2) 既設乾式貯蔵キャスクのキャスク保管建屋からの搬出

- ①既設乾式貯蔵キャスク9基のキャスク保管建屋からの搬出方法の確立

②既設乾式貯蔵キャスク及び収納燃料の健全性評価

(3) 工程確保

2年以内の燃料取り出し開始に向けた工程確保

4. 予定

① 至近1ヶ月の予定

- ・ 3, 4号機原子炉建屋上部のガレキ撤去中

② 至近1年間の予定

- ・ 4号機原子炉建屋上部のガレキ撤去完了, 燃取用カバー構築中
- ・ 3号機原子炉建屋上部のガレキ撤去中
- ・ 1号機燃料取り出し方法検討/先行号機調査
- ・ 2号機建屋内除染・遮へいの検討・準備
- ・ 空キャスク搬入のための港湾クレーン復旧・道路整備
- ・ 乾式キャスクの製造・搬入
- ・ 共用プール貯蔵中の燃料の取り出し着手
- ・ 既設乾式貯蔵キャスクの点検着手
- ・ 乾式キャスク仮保管設備の設置, キャスク仮保管の着手

以上